

にかほ市政説明会開催

行われたものです。

「にかほ市総合発展計画」に基づく6つの施策【①安心して暮らせる福祉のまち ②自然豊かで住みよいまち ③人と文化を育むまち ④活力ある産業の



夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち にかほ

文化施設については、いまさら箱物は要らないという方とこれから文化会館は必要であると、できれば作って欲しいという方と分かれています。例えば、P.T.A.連合会からも子どもたちのためにも早く整備して欲しいという要望書も出ています。

ただし、ご存知のとおり、政局によつては、道路特定財源の揮発油税の暫定税率分が廃止される可能性があります。これが廃止されれば、国からの交付金が毎年1億6千万円くらい少なくなります。1年限りであれば何とかやり繕り也可能でしそうが、永久的にその分のお金が交付されないとなれば、もう一度財政計画を見直す必要があります。国からのお金が無くとも、文化施設を建てて、そして今後の維持管理分も含めて十分やつていけるような財政環境でなければ、おそらく作ることはでき

■公約の中に金浦地域に文化施設を作るということも触れられていたと思いますが、このような状況下において、果たしてそのような施設が必要なのかと思つています。現在は、どのようにお考えですか。（反対の立場での質問）

4月11日から4月30日まで
市内9会場で、平成21年度の市政説明会が開催されました。

政説明会開催

行われたものです。

「にかほ市総合発展計画」に基づく6つの施策【①安心して暮らせる福祉のまち ②自然豊かで住みよいまち ③人と文化を育むまち ④活力ある産業のまち ⑤人と情報が交流するまち ⑥協働と自立のまち】に沿って、平成21年度の主要事業を主体とした説明や地域からの事前質問に対する説明が市からされました。

市民の皆さんからは、さまざまな分野における率直な意見や質問をいただきました。各会場での主な質問について、紹介します。

■高齢化が進む中で、市内に老人ホームは不足していると思いますが、どうでしょうか。

●施設を増やして欲しいという声がありますが、そのためにはいくつかの条件整備が必要です。国が定めているもので参考基準があります。

これは、要介護2から5までの介護認定者数に対して、施設のベッド数が37%を超えて作ることはできないというものです。

■市の総合発展計画に金浦地域に合併後3年以内に総合文化会館を建設するという項目がありました。確かに未嘗有の不景気であり、雇用の確保が優先課題であること、また、財政の非常事態に文化会館を作るということに反対する意見が多いことも承知しています。

しかしながら、不景気ではあるけれども、市民に夢を与えるような事業は、実施していかなければいけないのでないかと思います。合併協定の約束もありますので、総合文化会館を作つていただきたいと切に要望します。(賛成の立場での質問)

ことしは、そのための測量設計を実施するほか、取り付け道路の工事を予定しています。

なお、計画等が決まりしだい市民の皆様にも広報・ホームページなどでお知らせします。

■旧象潟中学校校舎の解体計画とその後の利用計画については、どうなっていますか。

●昨年度の説明会では、種苗交換会後に解体すると説明していました。

しかしながら、百年に一度と言われる経済不況の中で、市としても喫緊の課題として、緊急雇用対策や企業支援に取り組んでいるところです。こうした事

態を踏まえ、市民の生活を守る施策が最優先と考え、文部科学省へ校舎解体の延期を申し入れしているところです。

ただし、財源確保が図られた場合には安全確保の面から、速やかに解体したいと考えています。

解体後の敷地利用については、市の総合発展計画における前期基本計画が23年度で終了するので、24年度から始まる5カ年計画の後期基本計画の中での検討

●県境に位置する象潟・上浜地域は、アナログ放送でも難視聴地域があります。特に象潟元町の2、700世帯は難視聴地域とされています。このため、現行でも関の西大阪に中継局が設置され、そこから電波を受信してテレビを視聴しています。

デジタルの移行ですが、同じ場所の現在の電波塔の脇にデジタル波受信塔の建設が始まっています。

■地上デジタル放送に関して、電波が届かないところについて、今後どのように整備していくのか。各地区ごとに状況が違うと思うが、電波がキチンと届くよ

●県境に位置する象潟・上浜地域は、アナログ放送でも難視聴地域があります。特に象潟元町の2、700世帯は難視聴地域とされています。このため、現行でも関の西大阪に中継局が設置され、そこから電波を受信してテレビを視聴しています。

デジタルの移行ですが、同じ場所の現在の電波塔の脇にデジタル波受信塔の建設が始まっています。

電波を流すと伺っています。これにより、北は金浦地域から南は大砂川あたりまでは力バーよりくれるものと期待しています。ただし、現在でも共聴組合を組織して共同アンテナを設置して受信している地域については力バーできませんので、デジタル移行も組合として取り組むことになります。アナログで視聴できたのにデジタルとなつたら視聴できなくなつた、いわゆる新たな難視聴地域が発生することも懸念されますので、国策ではありますが、市としても、できる限りの支援は講じていきたいと考えています。

●県境に位置する象潟・上浜地域は、アナログ放送でも難視聴地域があります。特に象潟元町の2、700世帯は難視聴地域とされています。このため、現行でも関の西大阪に中継局が設置され、そこから電波を受信してテレビを視聴しています。

デジタルの移行ですが、同じ場所の現在の電波塔の脇にデジタル波受信塔の建設が始まっています。

③ 広報にかほ 21.5.15